

退教協ニュース No.69

2015年8月8日
宮城県退職教職員協議会 発行

8.30「戦争法案廃案！安倍政権退陣！ 国会包囲10万人・全国100万人大行動」に参加しよう！ (とき) 8月30日(日) 14時～16時 (ところ) 国会議事堂周辺

- ◆平和フォーラム・戦争させない1000人委員会は、「戦争させない・9条壊すな！総がかり実行委員会」に結集し、この5月以降精力的に戦争法案の廃案を求め、連日のように国会行動や都内デモ等を積み上げてきました。私たち宮城退教協としても、第一次署名として約200筆を6月中に提出しました(日退教1万200筆。全国で約166万筆集約)。
- ◆7月に入り、強行採決の動きが強まる中、東京ばかりでなく全国的に「戦争法案反対！強行採決反対！」の集会・行動が大規模に展開されました。7月14、15、16、17日と文字通り、連日の国会前総がかり行動が継続される中、15、16日に強行採決されてしまいました。しかし、世論の圧倒的多数が戦争法案を憲法違反と受け止め、米国追従の戦争下請け国家、戦争する国になるのは否！との声がむしろ益々高揚しています。こうした中、7月17日の総がかり行動に鈴木明事務局次長が参加しました(本紙2～3ページ参照)。
- ◆また、7.26国会包囲行動(2万5,000人。宮城退教協から酒井事務局長参加)や、7.28日比谷大集会にも1万5,000人。大学生・高校生・若い女性・母親・学者たちと多くの市民が新たに結集仕始めています。6月に入ってからは“運動の潮の目”は大きく変わっているのです。

末期的症状を呈し始めた「安倍政権」を追い詰めよう！

- ◆安倍政権の前途は次のように末期的症状を露呈し始めています。
 - 「反安倍感情」が自衛官たちに広がりだした。「専守防衛」のつもりで入隊したのに話が違う…
 - 「戦後70年の安倍談話」でのブレまくり。「侵略」如何ではネトウヨや日本会議からの批判にさらされる…
 - アベノミクスの破綻が広く国民に実感化されだした…
 - TPPが最終合意にならず“漂流”し始めた。財界には失望感…
 - 新国立競技場建設問題での無責任さ、無能力さを国際的に暴露…
 - 岩手県知事選で小沢一郎側近の達増現知事に平野参院議員を対抗馬で推したものの、負けそうだとわかり「撤退宣言」…
 - 辺野古基地建設は、翁長知事に押しまくられて9月以降一時中断へ。台風の時節であると言い訳しながら…
 - 9月訪中の素振りを見せていたものの、中国に「靖国神社を参拝しないこと」との条件を突きつけられ、「では、行くのを止める」とブレる身勝手外交にアジア諸国はあきれられる…
 - 参議院選挙改革案では、与党の公明党との対立だけでなく、自民党内でも不協和音が高まりだす…
 - 安倍政権と自民党の支持率急低下で、秋の自民党総裁選は、にわかに対立候補擁立の動きが…
 - マスコミへの「こらしめ」発言や、磯崎首相補佐官の安保法案は「法的安定性とは関係ない」発言で、安倍首相本音の代理発言とみなされる…
 - 「核兵器は核弾頭を持っており、分類については弾薬にあたる。」「よって、核兵器の運搬も法文上は排除していない」と中谷防衛大臣の答弁(8/5)と米軍後方支援活動の「正体」を暴露してしまった…
 - 「非核三原則」に言及しなかった広島平和記念式典での安倍首相に、広島市の被曝7団体が強く抗議するも無視を決め込む…
- ◆その他、多くの問題点や矛盾の言動が露呈し始め、国民は安倍首相と安倍政権の危険な本質に広く気付き始めている。この夏、秋の闘いで安保法案を廃案に追い込み、安倍政権を打倒しよう！

戦争させない！ 九条壊すな！

——戦争法案反対中央行動に参加して——

宮城退教協 事務次長 鈴木 明



7月17日(金),日退教の呼びかけに応じて、「衆議院本会議での強行採決抗議国会前総がり行動」に参加してまいりました。

残念ながら,15日特別委員会での強行採決に続き,16日衆議院本会議でも強行採決されましたが,連日の猛暑の中,全国各地から多くの市民、仲間が国会周辺に駆けつけました。

<全国から駆けつけた日教組の仲間>

昼には,国会正門前通り、憲政記念館西側には、<日教組>の幟を中心に、

<浜教祖> <兵庫> <広教祖> <日教組島根> <新潟県教組・高教祖>
<大阪> <三重> <群馬> <埼玉> <千葉> <北海道>
<大分> <都高教> 等の幟が林立していました。
<宮城高校ユニオン>の幟も見られました

猛暑の中、手に手に <戦争させない！> <九条壊すな！>

のカードを持ち 強行採決抗議の座り込み行動を粘り強くしました。

国会正門に続く大通り、憲政記念館南側には、僧侶の皆さんが丸い太鼓を打ち鳴らし、「南無妙法蓮華経」を唱えて、強行採決抗議の意思を表していました。

<全教>、<自治労連>、<日本共産党>の皆さんや<国労関係者>の皆さんも座り込み行動をして、抗議活動を繰り広げました。



夕方には、反原発の団体など市民団体、一般市民が増え、国会議事堂を取り囲む大きなうねりとなりました。

夜になると、「SEALs」(シールズー自由と民主主義のための学生緊急行動)等若者の行動が中心になり、

<アベ政治を許さない!> <war is over>

<戦争 絶対反対!> <peace not war>

などのプラカードを掲げ抗議活動を繰り広げ、大きな盛り上がりとなりました。

今まで街頭活動をしなかった若者達が、戦争法案を自分たちの問題として考え、行動を始めたことに、私は心頼もしく感じました。

東京だけでなく、仙台そして全国に若者の動きが強まることを願っています。

最近の世論調査では、安倍政権への不支持が支持を上回っています。また、戦争法案反対の割合が大きくなっています。市民の反対の声に怯え、自民党が街頭演説を取りやめるよう指示するなど、政府与党は自信を失いつつあります。

17日には、安倍は国民の反対の声に抗うことができず、新国立競技場建設計画を白紙撤回しました。国民の力を示すことができました

安倍は「支持率のため政治をやっているわけではない。」などとうそぶいていますが、かなりあせりが見えてきています。

「安保関連法案、まだまだ阻止できます☆」(黒澤いつきさん)

今こそ、我々の行動をどんどん強め、法案を廃案にするよう追い込みましょう!

そして、安倍政治を打倒しましょう!

このたびの中央行動に支援していただいた日退教東北ブロックの皆さん、宮城退教協の皆さんに感謝申し上げます。



<SEALsの若者たち>

6.14

戦争させない・9条壊すな！「総がかり行動」に参加して

2015年6月14日、東京は雨があがって曇り空。予定された14時より20分程早く地下鉄「国会議事堂前」駅で降りると既に前後は人の流れ。

地上に出るとスピーカーから「今日は50か所にスピーカーを据え付け、どこにいても私の声が聞こえるようにしてありますので、途中で止まらず流れて下さい」と指示される。

流れに押されて右へ右へと進む。憲政記念館や国会図書館を右手に見ながら歩く。衆議院第二議員会館前で日教組各県や日退教、国労の旗を見つけ歩みを止めた。国会議事堂をほぼ一周したことになる。

14時きっかりに開会。主催者を代表して高田健氏（？耳が弱くてよく聞き取れなかった）、各政党の挨拶、沖縄からの参加者と続く。その合間にシュプレヒコールで国会議事堂に向かって抗議の声を上げる。

以下、マイクから流れる熱弁のうちほんの一部を紹介します。

鳥越俊太郎氏「長い自民党政権といえどもこれほどの独裁政権は初めて。アベドルフ政権だ。新聞

記者として私は中東にも行って来た。日本の軍隊が中東に行くような事があつたら、自衛隊員のリスクなんてものじゃないですよ。イギリス、スペインであつたように日本の新幹線が爆破される」

法政大山口教授「高村は、“このごろの憲法学者は字面にこだわる”と言ったが、 $1+1=2$ に数学者がこだわるのと同じで当然のことだ」

オーストラリアのガバン・マッコネル氏のメッセージ「大正デモクラシーが軍国主義に変わったように、戦後民主主義が崩されるように見えて心配だ」

漫画家石坂啓氏「日本の若者に、私の息子に、戦争で死ぬと言うのか。安倍首相、ここに来て私たちの前に立ってみろ！」（大きな拍手）

古今亭菊千代（？）「国会中継をテレビで見ている野党も嫌だ。この条文がどうのこうのと言ってる場合じゃない！」（大きな拍手）

女の平和〇〇〇？「6月20日赤い点をつないで再度国会をとりまくが、人数が集まるかどうか心配。男の人もぜひ参加して・・・」

日弁連「弁護士は人権侵害と闘う。戦争は最大の人権侵害だ」

鎌田慧氏らの訴え、1000人委員会の藤本氏の行動提起を受け、予定を30分ほどオーバーして終了。主催者発表25,000人でした

<前野記>

↓ 衆議院第二議員会館の前で

